

# 学習指導案形式例【R7 生活科】

(群馬県教育委員会)

## 【単元の目標】

- ・学習指導要領で示された各教科等の内容を基に、**単元を通して育成を目指す資質・能力**を記述する。
- ・幼児期までの学びの特性を踏まえ、育成を目指す三つの資質・能力を截然と分けることができないことから、単元の目標の作成に当たっては、育成する資質・能力を総括的に示すようにする。

## 【評価規準】

- ・「『**指導と評価の一体化**』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、作成をする。その際、資料の「内容のまとまりごとの評価規準」をそのまま使用できない場合もあるため、実施する単元の内容と照らし合わせ、各観点の評価規準を吟味する。

## 【指導の計画】

- ・(単元の目標の達成につながる)「**単元の課題**」を解決するために必要な学習活動を明確にし、単位時間ごとに一文で簡潔に記述する。
- ・「つかむ」「追究する」「まとめる」過程の区切りは実線、その中を細分化する場合は点線とする。
- ※別紙として示す場合は、資料として添付し、3タイトル横に「※別紙参照」と示す。

## 【学習対象の価値】

- ・指導者の意図に基づき設定される学習対象について、児童の資質・能力の育成とのつながりから、その魅力や必要性等を、簡潔に記述する。
- ※「生活科学習指導案例」、  
「各教科等授業改善プロジェクト学習指導案」参照

生活科学習指導案

単元名「○○○○○○○○○○○○○○○○」【学指要領：例( )、ア、(ア)】

令和○年○月○日(○) 第○校時 ○○○○教室  
○○立○○○学校 ○年○組 ○名 指導者 ○○ ○○

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

目標	児童の実態

2 評価規準

知識・技能	①	②

<文末例>  
知・技、思・判・表「～している。」  
主体態「～しようとしている。」

思考・判断・表現	①	②

主体的に学習に取り組む態度	①	②

3 指導及び評価、ICT活用の計画(全○時間：本時第○時) ※指導に生かす評価○、評価に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	..... [単元の課題].....	(a)		
2	.....	(b)		
3	.....			
4	.....			
5	.....			
6	.....			

\*活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)

4 学習対象の価値

## 【学指要領】

- ・学習指導要領解説における内容を、記号で記述する。

## 【児童の実態】

- ・前単元までの学習や系統性を踏まえ、**本単元の目標との関わり**から、三つの資質・能力に係る実態をそれぞれ簡潔に記述する。
- ※原則として、前単元、同系統、生活経験 等
- ・「～ができない。」といった否定的な記述のみは避け、児童の実態を肯定的に捉え、「～については理解している。」のように、プラス面を記述する。

## 【評価の計画】

- ・単元の評価規準に照らし、各単位時間の評価の観点を、絞り込んで位置付ける。
- ・児童の学習状況を見取り、必要に応じて教師が指導、支援するなどして学習状況の改善を図る「**指導に生かす評価**」は「○」、評価したことを指導に生かしつつ、評価したことを記録する「**評価に用いる評価**」については「●」を枠に示す。
- ・評価の表し方や考え方、観点の位置付けについては「群馬県教育委員会『**指導と評価の一体化の充実に関する資料**』(各課発行・提供資料 義務教育課)」を参考にし、工夫して示す。

## 【活用するコンテンツ等】

- ・参観者が後に参考とできるように、学習で使用するWebのURL情報などを、(英小文字)の後に記述する。
- 例 (a) <http://www.nc.gunma~~~~> 等
- ※ (a) などは、指導の計画の中に位置付ける。

